



知教労ニュース

発行 知多地方教職員労働組合(知教労)

〒475-0929 半田市仲田町1-18 Tel&Fax 0569-24-5216

HP: http://www.chikyoro.ikaduchi.com/ e-mail: chikyoro@oboe.ocn.ne.jp

安倍政権教育の右傾化に抗して…知教労第23回大会開催

教育への政治介入に反対 教育委員会制度の良い部分を継続せよ！

三月二十一日、知教労の第二十三回定期大会が開かれました。

今回の大会は、安倍政権の下、教育に対する右傾化の圧力が強まる中で、組合としてどのように闘っていくのかという課題の中での会でした。もうすでに沖縄県竹富町では、町が独自に採択した教科書に対し、「育鵬社」版公民などの教科書を八重山地区全体として採用するよう、文科省から圧力がかけられるなど、いわゆる「安倍カラー」の押し付けが始まっています。



【2014年度方針を採択】

岡崎書記長が総括に立ち、旧年度の六月に開催した「平和学習会」では「南吉と平和」の講演に百五十名の参加者を集め、成功を収めたこと、全教主催の「教育の集い」(8月)は、右翼の街宣にもひるむことなく集会を成功に導いたことなどが報告されました。また、各市町の教育委員会や知多事務所との話し合いがもたれ、一定の成果が勝ち取れたことなどが具体的に報告されました。

内田副委員長からは、「安倍内閣は、戦後曲がりなりにも続いてきた、教育委員会制度の『改革』に乗り出し、首長の権限下にその意に沿う事務的な機関としての教育委員会をつくらうとしている。それに対し、地方の議会や教育委員会も巻き込んだ世論の形成が必要だ」との意見が出されました。また、別の組合員からは、職場の多忙化の現状の報告、一向になくならないパワハラへの訴えに對してどのように対処していったかなどの経験が次々と出されました。阿久比中学校では、教育委員会への働きかけにより、生徒の研修に付き添った教師の日常を、二年間にさかのぼって支払わせた例も報告されました。



【佐田新委員長】

平和を守る取り組みでは、教職員9条の会の地道な活動に加え「秘密保護法に反対する知多の会」が三月三十日に結成されることを受け、この会に加入していくことが承認されました。大会は新委員長に佐田京美委員長を選出し(岩澤前委員長は副委員長に留任)、新たな陣容で次年度も知多の教育発展のために全力を出すことを誓い合い終了しました。

知多半島9条の会 連絡会連続講座続行

5市5町、教職員、日本福祉大学で活動を進めている9条を守る会が連絡し合って「知多半島9条の会連絡会」をつくり、各会の報告をしたり、協同して行動をしたりしています。今年度は、「憲法連続講座」として月に一度、阿久比中央公民館を主な会場として開催してきました。知教労は、教職員9条を守る会に団体加盟しているため、この憲法講座を前向きにとらえ、組合員も何名か毎回参加してきました。

連続講座は、毎月盛況でした。お年寄りも多く集い、「学ぶこと」「憲法を大切に思う気持ち」に満ちている講座でした。

4月5日の講座をもって、予定された講座は終了しますが、この後も、「学びたい」と、講座を続行する声があります。

北から南から ~みんなの心を一つにする歌~

今年の組合大会は、組合員が作詩・作曲した「願いは一つ」という曲で始まった。知教労のすばらしい愛唱歌として大切にしていきたいと思う。

学生の頃、教育系学生ゼミナールで「青春」という歌を千人で歌い踊った感動は今でも忘れられない。優れた歌は参加者の気持ちを一つにすることができる。毎年開かれる原水爆禁止世界大会では、「原爆許すまじ」「青い空は」を歌いながら行進をする。ベトナム戦争に反対する活動の中で「戦争を知らない子どもたち」をだれもが口ずさんだ。メーデーでは「がんばろう」が今でも歌われる。それは、荒木栄の言葉を借りれば「歌は闘いと共にある」からだ。そして、いろいろな運動の中で名曲と言われる歌が多くつくられてきた。

近年、憲法9条を守る運動や反原発の運動は全国で大小さまざまな集會が開かれ、デモ行進も行われ参加もしてきたが、残念なことにまだ参加者みんなが歌える歌を知らない。シュプレヒコールやプラカードもいい。仮装するのもいい。いろいろなパフォーマンスがあってもいい。足りないのは、みんなの心に響く誰もが歌える歌を広げていくこと。そういう気がしてならない。(K)

多数寄せられ、9条連絡会で、今後どのようにするかを話し合いました。安倍政権は、9条を変えよう、先に9条を変えなくてもなし崩し的に戦争のできる国にしようとする暴走しています。このような情勢のもとで、やはり学び考え、「知を力」にしていくためには、引き続き講座を続行していこうとまとまりました。憲法だけでなく、その時々々の情勢についての課題についても講座内容にしていく予定です。最後の講座は4月5日(土)14:00~16:00阿久比中央公民館で行います。テーマは「解釈改憲は憲法違反・海外での戦争は認めない」として新美治一先生を講師として進めます。初めてのの方は会費は100円です。共に学びませんか。たくさんの方の参加を呼びかけます。



知教労組合員ながら、なぜか校務分掌では教職員会の広報という、比較的「体制側」の仕事に任されている。教職員会報の編集や原稿の校正を行う。勤務時間内に行われる、れっきとした出張である▼事務局の校長は二年前から「教職員会報には意義が感じられず、予算の数十万円をもっと有効に活用したい。教員の負担軽減の意味でも、教職員会報を廃止したい」と述べていた。先日、その校長は校長会で遂に教職員会報の廃止を訴え、結論が出た。「教職員会報は意義あるもので、廃止はしない」教職員会報などという、子どもの教育とはまるで無関係のことまでもが「意義がある」を建前にやめることすらできないのだ▼我々の仕事はもはや「意義ある地獄」に陥っているのではなからうか。「学校訪問には意義がある」「部活には意義がある」「所見を書くことには意義がある」仰せの通り。「意義がない」なんて一言も言っていない。しかし今や学校の現場は「意義ある」を詰め込みすぎて、破裂寸前の風船のような状態なのだ▼今なすべきことは、それら数多の「意義ある」を斟酌し、こちらを残しあちらは捨てるという選別を行い、風船の破裂を食い止めることではないか▼件の校長はこう漏らした。「結局、自分の代で『やめる』となると、周りからアレコレ言われるから、やめられないんだらうな」教師は生徒によくこう話す。「悪いことに誘われたら、断る勇気をもってほしい」偉い方々には是非「やめる勇気」をもってほしいものだ。(I)

データで見る『教員の実態』 第43回 6,193名、3,025名

今回は、少し大きな数字ですが、多くの方が関係する可能性の高いデータです。見出しの数字は、「公立学校教育職員の再任用(平成25年度)」の数字です。全国で、小学校が6,193名、中学校が3,025名でした。

「平成25年度公立学校教職員の人事行政状況調査について」から引用

	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計
短						8,509	52	8,561
フ	349	16	0	94	68	5,412	217	6,156
計	349	16	0	94	68	13,921	269	14,717

「短」は短時間勤務、「フ」はフルタイム勤務

上の表には、高等学校や養護学校などの人数も含まれています。興味深いのは、校長・副校長がフルタイムで再任用をしていることが意外に多いことです。校長は東京都が241人でもっとも多く、大阪市、横浜市が続きます。多くの府県では0人となっています。副校長は東京都だけです。

愛知県の場合は、小中学校では一般の教諭・養護教諭だけが再任用されています。もともと、退職校長は違うポストを斡旋されています。

愛知県	小学校	中学校	高等学校等	養護教諭
フルタイム	5	0	0	5
短時間	711	197	617	12

残念ながら、現在の再任用制度は教職員定員の枠内で実施されています。本来なら60歳定年のはずが、年金へのつながりのために選択制の65歳定年化してしまっています。短時間勤務の再任用が2人増えれば新任が1人採用されなくなり、フルタイム勤務の再任用1人で新任が1人採用されないということになるわけです。

愛教労では、このような現状に対して、「フルタイム以外は知事部局のように教員定数の枠から外すよう」に要望を出しています。また、「制度の趣旨にのっとって、希望者は全員再任用する」「年金までの生活維持にふさわしい給与にする」などの申し入れも行っています。

知ってるつもい・Q&A 「ベア」と「定期昇給」の違いは？

Q この3月、ニュースや新聞でよく「春闘でベアの実施」という報道がなされました。「ベースアップ」の略であることはわかるのですが、「定期昇給」とは別のものなのでしょうか。

A この春は、さまざまなメディアで「ベア」ということばを耳にしましたね。ご質問にもあるように「ベア」は「base up(ベースアップ)」の略で、いわゆる基本給の基準を上げることを意味しています。

ベアと定期昇給の違いを簡単な例で説明します。たとえば、教員の給与で、2013年4月採用の大卒1年目の給与が20万円だったとします。2014年4月採用者は、この基準が上がり、20万2,000円になったとすると、この2,000円をベースアップといえます。

一方、2013年4月に採用された教員が、2014年の4月に1号給上がって20万3,000円になった場合、これを定期昇給といえます。ベアとは、賃金の基準そのものが上がるので、ベースアップといえます。

この春は、大手企業を中心にベースアップの声が聞かれましたが、あくまでも大手企業中心であり、中小企業で働く人たちや労働者の約4割を占める非正規雇用者からは、「ベアは遠い世界の話」「ベアより、まず正規雇用への道を開くことが大切」などの声も強く出ています。立場を超えて多くの労働者が共同して行動することがより必要になっています。



鉄道旅のススメ (青春18きっぷ・青空フリーパス)

私が職場で「鉄道倶楽部」なるものを創設して8年になります。2人旅から始まったこの倶楽部は、今では、最高14人もの大人数の旅になり、職場の親睦を深める場となっています。鉄道旅の良さは、なんといってもお酒が飲めておしゃべりができるということです。そして、車より時間が正確で安全。運転手に負担もかけません。交通費も、お得な切符を使えば格安で行けます。

まずは「18きっぷ」から 年齢制限はなし、誰でもつかえます

「18歳の青春の心をいつまでも持ち続ける旅を」というのがそのココロだそうです。ジーンズにナップを背負ったおじさんをよく見かけます。ただし子ども料金はないので、子どもでも半額にはなりません。

全国のJR線の普通・快速列車に乗り放題です

快速や、季節限定の快速列車をうまく使うとけっこう遠くまで行くことができます。米原・姫路間は新快速がバンバン走っているので便利です。残念ながら特急・急行に乗る時は、特急・急行料金と乗車料金も払わなくてはなりません。でも時間がないときは、特急や新幹線も組み合わせて使うと計画が広がります。

1枚1万1500円で5回(人)分です

1枚の切符に利用開始のスタンプを押す覧が5つあります。1回分にすると2300円です。1回分だけでは売っていません。1人で5回使ってもいいし、2人で2回1人で1回、また、5人で1回使ってもいいということです。1回ということは1日分ということでもあります。

春・夏・冬の期間限定です

その期間しか使えません。春は3月1日～4月10日。夏は7月20日～9月10日。冬は12月10日～1月10日。夏に余ったので冬に使おうとしてもだめです。1回でも使った物は払い戻しもできません。駅員のいるJRの駅で買えます。期間の終盤に金券ショップへ行くと使いかけの18きっぷを売っているので、それを利用するのもいいでしょう。

次は「青空フリーパス」 JR東海発行、フリー区間限定です

フリー区間が限定されています。しかし、南は鳥羽や紀伊長島、西は米原、北は下呂や木曾平沢や飯田、東は二川と、結構広い範囲行けます。1日普通快速列車は乗り放題です。

土日祝日ならいつでも使えます

18切符と違って、発売期間はありません。土日祝日ならいつでも使えます。駅員のいるJRの駅で買えます。自動販売機で買える駅もあります。

1人1枚2500円です

1人1枚ずつ買います。したがって、自動改札も自由に通れます。18切符は複数人で行く時は、一緒に改札を通らなくてはなりません。このフリーパスは、改札自由で便利です。さらに、この切符のうれしいことは、特急利用の時は特急料金だけ払えば乗れるということです。高山線や中央線は特急もたくさん走っているの、利用しやすいです。また、鳥羽や伊勢方面に行くときは、伊勢鉄道分の料金も入っているので、18切符よりお得です。

3月1日には、熱海まで梅を見に行ってきました。紅梅白梅いろいろな種類の梅が咲き誇り、とてもきれいでした。往復10時間の鉄道旅でしたが、おしゃべりの花が咲き、交通費2300円で楽しい1日を過ごせました。

さあ、みなさんも鉄道旅をお楽しみください。

